

福山市立赤坂小学校 2026年度(令和8年度) スタートカリキュラム計画

学校教育目標

ともに 伸びる

令和8年3月 27日作成

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
一年間の育ちの姿	入学当初の児童の姿 ○思考力の芽生え ・自分の思いをもち、考えながら遊んでいる。 ○言葉による伝え合い ・友達の話を聞き、自分の思いを最後まで伝える。 ○協同性 ・友達と関わって元気よく遊んでいる。 ・自分の思いが上手く伝わらず友達とトラブルになることがある。 園では、自分たちで考えて楽しく遊んだよ。 小学校って、どんなことをするのかな？ 小学校でも、自分の気持ちを伝えられるかな？ 友達と楽しく勉強したいな！ 新しい友達、できるかな？ 先生、お兄さんやお姉さん、優しいといいな！ 自立 成長 安心 次は、もっとこんなことをやってみたいな！ こんな不思議を解決したいな！ 友達に分かるように、自分の思いを伝えられたよ！ 友達と力を合わせて、いろいろなことができたよ！ 期待する児童の姿 主体的に自己を発揮しながら学びに向かう ○「なぜ、どうして？」「もっとこうしたい」という思いや考えをもち、言葉にすることができる。 （課題発見・解決力） ○人の話を最後まで聞き、理由を付け加えて自分の意見を言うことができる。（コミュニケーション力） ○自分の周りの人の思いに耳を傾け、寄り添ったり励まし合ったりすることができる。（他者と関わり合う力）											
活動 主な学習活動 関連	すたあと☆赤坂小学校！ 自分の好きなものを絵やことばで表現し、伝え合うことで、友だちのことを知り、児童同士の関係を構築していく。 1日の過ごし方を確認したり、学校のきまりを経験したりすることで、安心して過ごせる環境を整える。 学校って どんどころ？ 2年生との学校探検や、1年生を迎える会を通じて、教室以外の場所についても知る機会を増やしていく。また、外遊びのルールや給食当番など、新しいことにもチャレンジする。体育大会に向けて、並び方や全体行事での動きを身に付け、小学校の一員として行動できるようにする。 たのしいことがいっぱい！ 連絡帳やノートなどを自分で書く経験を積み重ねることで、学習への意欲を高め、自信をつけていく。 生活科「なつとなかよし」などで、1年生が中心となって活動を企画し、他学年を招待したり、未来園と連携したりすることで、主体的に学習へ取り組む環境を作る。 第1学年カリキュラムマップ（年間指導計画）に基づく 学習活動の実施 （合科的・関連的な学習活動を含む） 大単元 ～「たのしい!」「おもしろい!」あかさかしょうがっこう(仮)～ （生活科を中心とした合科的・関連的な学習活動の充実） 国語「どうぞよろしく」「こんなものみつけたよ」 生活「ともだちと なかよくならう」 音楽「うたっておどってなかよくならう」 図工「どんどこかくのはたのしいな」 道徳「あかるいあいさつ」「はりきり1年生」 学活「楽しい給食」「小学校のきまり」 行事「1年生を迎える会」 ・6年生によるピアサポートを行う。 国語「かくことたのしいな」「図書館へ行こう」 算数「10までのかず」「何番目」 生活「がっこうと なかよくならう」 体育「固定施設を使った運動遊び」「走・跳の運動遊び」 学活「図書館の過ごし方」 行事「体育大会」 国語「こんなことがあったよ」「おおきなかぶ」 算数「いくつといくつ」 生活「なつとなかよし」 体育「多様な動きをつくる運動遊び」 図工「すなやつちと なかよし」 学活「ともだちとなかよく」											
環境構成（人・もの等）	安心して学校生活を送るために 【人】 ・児童が、安心して自分の思いや願いが実現できるよう教師は、受容的な態度で接し、信頼関係を築く。 ・配慮のいる児童についての情報交流を職員全員で行い、学級や学年を超えた関わりをつくることで、学校全体で新1年生をサポートする。 【もの】 ・児童の実態に合った文字・絵・写真等の表示やICTの活用等、視覚支援を大切にする。 ・教室後ろのコーナーや図書館を活用して、園で慣れ親しんだ遊びができるようにする。 【こと】 ・朝の時間に、好きな遊びを選んで取り組んだり、学級でみんなと体を動かしたりして、一日を楽しくスタートできるようにする。また、 主体的に自己を発揮するために 【人】 ・教師は、児童のつぶやきに耳を傾け、思いや願いを生かした学習活動になるよう一人一人の声を大切にする。 ・当番活動や係活動を通して、自分の役割を意識し、学級の仲間のために取り組む気持ちをもてるようにする。 【もの】 ・時間が意識できる掲示をしたり、タイマーを活用したりして、自分たちで考えて行動できるようにする。 【こと】 ・学習や行事を中心に、子ども同士で関わる時間を多く設け、自分で考えたり、友達と相談したりしながら学び合う良さを実感できるようにする。 2年生に向けて 【人】 ・進級への期待を高め、新1年生を迎える気持ちをもつとともに、準備ができるようにする。 【もの】 ・入学から1年間が振り返られるように写真等を掲示し、自分たちの成長を感じられるようにする。 【こと】 ・保護者や地域の人に、自分のできるようになったことを発表し、成長の喜びと感謝を伝えられるようにする。											
園・所との連携	★校内授業研究参観・協議会（6月） ★園・所等への参観（※日程調整） ★保育参観（活動への参加・体験）（7・8月） ★田植え（5年生と年長児）（6月） ★第1回幼保小連携全体協議会（6月） ★授業参観・協議会（9月） ★音楽発表会校内発表会（11月） ★未来園との交流『秋祭り』（12月） 『秋祭り』については、単元を通して、交流ができるように日程を調整する。一緒に落ち葉やどんぐりなどを拾ったり、製作活動をしたりできるようにする。 ★らいおん組 授業体験（9月） ★地震避難（11月） ★未来園との交流『たこあげ大会』（2月） ★保育参観（入学児童の実態把握）（2月） ★園・所等との交流（学校紹介）・児童の引継ぎ ★次年度に向けての実態交流（3月）											
地域との連携	・読書ボランティアによる月1回の読み聞かせ ・地域ボランティアによる登下校の見守り											
家庭との連携	・家庭での様子を聞いたり、学校での様子を伝えたりしながら、保護者との信頼関係を築いていく。 ・基本的な生活習慣をと学習習慣を整える大切さを伝えていく。 ・支援が必要な児童については、保護者や関係機関などと連携を図る。 ・学年通信等で、児童の様子を紹介し、主体的に活動している様子を伝える。 ・毎日の宿題等、学習支援の協力をお願いする。 ・行事や日々の授業を通して成長した姿を伝え、子どもの成長を保護者と共有する。											

